

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ウ	離島・へき地医療、救急医療提供体制の確保・充実	施策	②救急医療提供体制の確保・充実
			施策の小項目名	○救命措置の普及推進
主な取組	応急手当の普及啓発活動の推進		対応する成果指標	救急病院数
施策の方向	・救急医療においては、迅速な通報や応急手当が救命率の向上につながるため、市町村や医療関係団体等との連携の下、救命措置の普及を推進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
応急手当の普及啓発活動の推進	市町村	各市町村消防本部等による救命講習の実施		
		救命講習実施回数(累計)		
		400回	400回(800回)	400回(1,200回)
担当部課【連絡先】	知事公室消防防災対策課 【 098-866-2143 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
-	-			主な財源	実施方法	当初予算額
				-	-	
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
年400回の救命講習の実施				年400回の救命講習の実施		

活動指標名	救命講習実施回数 (累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	658回	1,009回	847回	400回 (1,200回)	100.0%	順調	救命率向上につなげるため、市町村や医療関係団体等との連携の下、年400回の救命講習の実施する。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

進捗状況の判定根拠は、救急事故等報告要領（昭和39年5月4日付け自消甲教発第18号消防庁長官通知）に基づく各消防（局）本部からの報告（速報値）によるものとしている。救命講習を実施する効果として、住民に対し応急手当に関する正しい知識と技術の普及が期待できる。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○引き続き感染防止対策を行いながら、救命講習の実施を推進する。	手指消毒等の基本的な感染症等の感染防止対策をしつつ、救命講習を実施した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、救命講習件数も増加傾向にある。ただし、新たな感染症が流行した場合等には、再び救命講習件数が減少する可能性も懸念される。	⑥ 変化に対応した取組の改善	新型コロナウイルスの感染は落ち着いているものの、インフルエンザやコロナ等の感染症はいつ流行するかわからないため、引き続き感染防止対策を実施し、救命講習の実施を推進する。